

訓練

原子力規制委員会・内閣府原子力事故合同警戒本部

※これは速報であり、数値等は今後変わることがある。

愛媛県伊予灘沖を震源とする地震による被害情報について

(第1報：令和7年11月28日15時00分現在)

令和7年11月28日に発生した地震による、現時点で把握している施設の状況及び政府の対応状況等の概要は、以下のとおりです。
原子力施設の状況
(1) 四国電力(株)伊方原子力発電所(愛媛県伊方町震度7)
1号機：廃止措置中
2号機：廃止措置中
3号機：運転中
○プラントの状態 確認中
○排気筒モニタ、モニタリングポスト(現時点で異常なし)
(2) 中国電力(株)島根原子力発電所(島根県松江市震度4)
1号機：廃止措置中
2号機：運転中
○プラントの状態、排気筒モニタ、モニタリングポスト(現時点で異常なし)
(3) 九州電力(株)玄海原子力発電所(佐賀県玄海町震度4)
1号機：廃止措置中
2号機：廃止措置中
3号機：運転中
4号機：運転中
(4) 九州電力(株)川内原子力発電所(鹿児島県薩摩川内市震度4)
1号機：運転中
2号機：運転中
○プラントの状態、排気筒モニタ、モニタリングポスト(現時点で異常なし)
(5) JAEA・人形峠(加工)(鳥取県三朝町震度3、岡山県鏡野町震度4)
1号機：運転中
2号機：運転中
○プラントの状態、排気筒モニタ、モニタリングポスト(現時点で異常なし)

【1. 総括関係】

訓練

1. 地震の概要について

(1) 発生日時・場所

令和7年11月28日

14:00 愛媛県伊予灘沖（北緯33.6度、東経132.3度）

震源の深さ 約10km、マグニチュード7.5（推定）

(2) 原子力施設所在地域における主な震度

震度7 : 伊方町

震度4 : 島根県松江市、佐賀県玄海町、鹿児島県薩摩川内市、岡山県鏡野町震度4

津波注意報 発表:愛媛県宇和海沿岸ほか

2. 政府の主な対応

(1) 会議等の設置

令和7年11月28日

緊急参集チーム・各省庁リエゾンを招集

14:05 伊方原子力発電所に係る原子力規制委員会・内閣府事故合同警戒本部を設置

14:05 伊方原子力発電所に係る原子力規制委員会・内閣府事故合同現地警戒本部を設置

(2) 政務・幹部等参集状況

【官邸】

原子力規制委員会

原子力規制庁 金子長官

内閣府（原子力防災）

【原子力規制庁緊急時対応センター（ERC）】

原子力規制委員会 山中委員長、長崎委員、杉山委員、神田委員、山岡委員

原子力規制庁 児嶋次長、古金谷総括審議官

内閣府（原子力防災）

【内閣府】

松下政策統括官

訓練

【伊方オフサイトセンター（OFC）】

内閣府（原子力防災）

原子力規制庁

【四国電力（株）事態即応センター】

原子力規制庁

【2. 原子力施設の被害状況に関する情報】

1. 四国電力（株）伊方発電所

（1）事象発生前のプラントの状況

1号機	廃止措置中
2号機	廃止措置中
3号機	運転中

（2）トラブルの経過

【共通】

【1号機】

令和7年11月28日

14:00 外部電源から受電中。

【2号機】

令和7年11月28日

14:00 外部電源から受電中。

【3号機】

令和7年11月28日

- 14:00
- ・地震加速度大で原子炉自動停止。
 - ・500kV 送電線から受電不能、予備変圧器故障により、外部電源喪失。
 - ・非常用ディーゼル発電機(A)(B)起動。
 - ・電動補助給水ポンプ(A)(B)、タービン動補助給水ポンプにより給水

訓練

中。

・外部電源喪失に伴い、使用済燃料ピットポンプ(A)(B)が停止。

14:03 格納容器塵埃モニタ及び格納容器ガスモニタの指示値上昇により一次冷却材の漏えいを判断。

14:09 充てんポンプ(B)(C)起動。

(3) 施設の現在の状況

① 止める

1号機	—
2号機	—
3号機	原子炉自動停止

② 冷やす

1号機	—
2号機	—
3号機	・充てんポンプ(B)(C)による炉心注水 ・電動補助給水ポンプ(A)(B)、タービン動補助給水ポンプによる給水

③ 閉じ込める

1号機	—
2号機	—
3号機	モニタリングポスト指示値に変化なし

④ 使用済燃料プール

1号機	—
2号機	冷却中
3号機	機能喪失中

(4) 進展予測と対応戦略

【共通】

<進展予測>—

<対応戦略>—

【1号機】

訓練

<進展予測>—

<対応戦略>—

【2号機】

<進展予測>—

<対応戦略>—

【3号機】

<進展予測>—

<対応戦略>—

【3. 住民防護関係】

○ オフサイトの直近の対応状況

令和7年11月28日

14:05 関係地方公共団体に連絡体制の確立等を要請（AL1）

15:17 関係地方公共団体にPAZ及び予防避難エリア内の施設敷地緊急事態要避難者の避難準備を要請（AL2）

<避難状況等>

・現在のところなし

1. 住民避難に関する情報

(1) 避難準備要請区域

令和7年11月28日

15:17 四国電力株式会社伊方発電所のPAZ及び予防避難エリアの施設敷地緊急事態要避難者（注）は、避難の準備を開始することを要請（AL2）

（注）施設敷地緊急事態要避難者

「施設敷地緊急事態要避難者」とは、PAZ内の住民等であって、施設敷地緊急事態の段階で避難等の予防的防護措置を実施すべき者として次に掲げる者をいう。

イ 要配慮者（災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第8条第2項第17号に規定する要配慮者をいう。）（ロ又はハに該当する者を除く。）のうち、避難の実施に通常以上の時間がかかるもの

ロ 妊婦、授乳婦、乳幼児及び乳幼児とともに避難する必要のある者

ハ 安定ヨウ素剤を服用できないと医師が判断した者

訓練

(2) 避難要請・指示区域

現在のところなし

(3) 屋内退避準備要請区域

令和7年11月28日	
15:17	避難の実施により健康リスクが高まる要配慮者は、屋内退避の準備を開始することを要請（AL2）

(4) 屋内退避指示区域

現在のところなし

(5) 住民避難状況

現在のところなし

(6) 周辺の被害状況

確認中

【4. 医療関係】

○ オフサイトの直近の対応状況
・安定ヨウ素剤：備蓄場所の被災状況 確認中
・原子力災害医療：被ばく傷病者 被ばく傷病者 あり（2名）詳細確認中
・原子力災害拠点病院：確認中

1. 安定ヨウ素剤の服用に関する情報

令和7年11月28日

確認中

2. 原子力災害医療に関する情報（安定ヨウ素剤の服用に関する情報を除く）

(1) 基本情報

令和7年11月28日

15:00 ERC 要員7/9名参集済み

(2) 負傷者関連

令和7年11月28日

訓練

確認中

(3) 避難退域時検査関連

令和7年11月28日

確認中

(4) 人員派遣関連

令和7年11月28日

確認中

【5. 放射線防護関係】

○ 放射性物質の外部への影響関係	
・ 原子力施設外での放射性物質による影響	
① O I L 1 を超過したモニタリングポスト：なし	
② O I L 2 を超過したモニタリングポスト：なし	
③ 飲食物のスクリーニング基準を超過したモニタリングポスト：なし	
・ 飲食物の出荷・摂取制限	
現在のところなし	
令和7年12月28日	
・ 原子力施設外のモニタリングポスト稼働状況：欠測あり	

1. 放射性物質の外部への影響に関する情報

(1) モニタリング情報

ア 原子力施設外での放射性物質による影響（15：00現在）

現在のところ放出なし

イ 原子力施設外のモニタリングポスト稼働状況

2局欠測（98局／100局：稼働中）

電子線量計大江（準 PAZ：西南西：9.7km）

電子線量計川之浜（準 PAZ：南西：10.9km）

(2) 緊急時モニタリング実施計画

現在のところ発出予定なし

訓練

(3) 人員派遣・資機材関連

○JAEA、QSTに派遣要請（14：51）

(4) 出荷制限・摂取制限関連

現在のところなし

【6. 実動対処関係】

1. 実動省庁による支援

現在のところなし

【7. 広報関係】

1. プレス等公表の状況（国際関係を除く）

(1) 情報提供

(2) 記者会見等

【8. 国際関係】

1. プレス等公表の状況（国際関係）

(1) 情報提供

令和7年11月28日

13：45 IAEA通報第1報

(2) 放射性物質の外部への影響に関する情報

現在のところなし

訓練

原子力規制委員会・内閣府原子力事故合同警戒本部

愛媛県伊予灘沖における地震による被害情報について

(第3報：11月28日15時35分現在)

【2. 原子力施設の被害状況に関する情報】

1. 四国電力（株） 伊方発電所

(1) 事象発生前のプラントの状況

1号機	廃止措置中
2号機	廃止措置中
3号機	運転中

(2) トラブルの経過

【共通】

令和7年11月28日

15:01 【警戒事態】3号機において、原子炉冷却材の漏えい(AL21)、単一障壁の喪失又は喪失のおそれ(AL42)に該当すると事業者判断。

【1号機】

令和7年11月28日

14:00 外部電源から受電中。

【2号機】

令和7年11月28日

14:00 外部電源から受電中。

【3号機】

令和7年11月28日

14:00

- ・地震加速度大で原子炉自動停止。
- ・500kV送電線から受電不能、予備変圧器故障により、外部電源喪失。
- ・非常用ディーゼル発電機(A)(B)起動。
- ・電動補助給水ポンプ(A)(B)、タービン動補助給水ポンプにより給水中。
- ・外部電源喪失に伴い、使用済燃料ピットポンプ(A)(B)が停止。

14:03 格納容器塵埃モニタ及び格納容器ガスモニタの指示値上昇により一次冷却

訓練

材の漏えいを判断。

- 14:09 充てんポンプ (B) (C) 起動。
- 14:25 一次冷却材の漏えい量の低減のため、一次冷却材の減圧を開始。
- 14:32 予備変圧器冷却器上部の破損及び堰内の油の漏えいを確認。
- 14:34 一次冷却材圧力の 11.3MPa までの減圧が完了。
- 14:35 500kV 送電線が川内変電所の GIS ブッシングの損傷により早期復旧不可。
- 14:47 使用済燃料ピットポンプ (B) 起動により、使用済燃料ピットの冷却を再開。
- 14:59
 - ・加圧器水位の低下を確認。高圧注水ポンプ (A) (B)、余熱除去ポンプ (A) (B) を手動起動。
 - ・使用済燃料ピットポンプ (B) が停止。
- 15:01 【警戒事態】原子炉冷却材の漏えい (AL21)、単一障壁の喪失又は喪失のおそれ (AL42) に該当すると事業者判断。
- 15:05 充てんポンプ (B) (C) を起動し、炉心注水を再開。
- 15:08 一次冷却材の減圧操作を実施。
- 15:19 高圧注入ポンプ (A) (B) 及び余熱除去ポンプ (A) (B) を手動停止。
- 15:26 格納容器再循環ファン (A) (B) (C) (D) 起動。
- 15:32
 - ・6-3C、4-3C1、C2 母線が停電。
 - ・非常用ディーゼル発電機 (A) が過電流により停止 (重故障)。
 - ・電動補助給水ポンプ (A)、格納容器再循環ファン (A) (B) が停止。

(3) 施設の現在の状況

① 止める

1号機	—
2号機	—
3号機	原子炉自動停止

② 冷やす

1号機	—
2号機	—
3号機	<ul style="list-style-type: none"> ・充てんポンプ (B) (C) による炉心注水 ・電動補助給水ポンプ (B)、タービン動補助給水ポンプによる給水

③ 閉じ込める

訓練

1号機	—
2号機	—
3号機	モニタリングポスト指示値に変化なし

④ 使用済燃料プール

1号機	—
2号機	冷却中
3号機	機能喪失中

(4) 進展予測と対応戦略

【共通】

<進展予測>—

<対応戦略>—

【1号機】

<進展予測>—

<対応戦略>—

【2号機】

<進展予測>—

<対応戦略>—

【3号機】

<進展予測>

《使用済燃料ピット》

冷却機能が喪失した場合の評価（14：33時点）

・使用済燃料ピット温度 100℃到達予測 12月4日 0：00

<対応戦略>—

ERCプラント班 プラントクロノロ

11月28日(金) 15:35 現在の状況

※下線あり：更新箇所 時刻なしまたは時刻不明：－

I. 伊方発電所

【発生前プラント状態】

1号炉	廃止措置中
2号炉	廃止措置中
3号炉	定格出力運転中

【全体】

発話時刻	発生/確認時刻	状況
11月28日(金)		
	14:00	愛媛県伊予灘沖 震度7。マグニチュード7.5、深さ10km
	14:00	愛媛県瀬戸内海沿岸部津波警報 3m
	14:03	AL(大地震発生)事業者判断

1号機：廃止措置中

発話時刻	発生/確認時刻	状況
11月28日(金)		
14:30		187kV線に外部電源を受電。大きな異常なし。
14:34	14:14	1-固体廃棄物貯蔵庫2階で負傷者1名、1名自力歩行不可。両名とも意識あり、汚染の可能性あり、救急車要請済み。
14:55	14:45	1号機使用済燃料ピット水位、通常レベル+0.1cm水位安定。

2号機：廃止措置中

発話時刻	発生/確認時刻	状況
11月28日(金)		
14:30		187kV線に外部電源を受電。大きな異常なし。
14:55	14:45	2号機使用済燃料ピット水位、通常レベル+0.1cm水位安定。

3号機：定格出力運転中

発話時刻	発生/確認時刻	状況
11月28日(金)		
	14:00	垂直地震大による原子炉自動停止(垂直:190Gal, 水平205Gal)、使用済燃料ピットポンプA, B停止。
	14:01	海水ピット水位0mから3.5mまで上昇
14:21	14:03	一次冷却材漏えいを判断
14:23		500kV送電線損傷、予備変圧器故障のため外部電源喪失。非常用ディーゼル発電機A, B起動
14:26		予備変圧器故障の原因は過電流地絡、油面低。
	14:06	モード3達成
	14:09	充てんポンプ3B, 3Cを起動し、充てんを再開。
14:29	14:19	モード4+100ppmまでの緊急濃縮開始。濃縮量13m ³ 、15:20完了見込み。
	14:25	一次冷却系圧力の先行減圧を開始、目標圧力11.3MPa、完了予定14:40頃。
14:46	14:32	地震後のプラント点検を開始。1~2時間程度要する見込み。
	14:34	先行減圧完了。自動安全注入信号をブロック。必要に応じて手動起動。漏えい量1.6m ³ /hと推定。
14:45		500kV送電線故障原因は川内変電所でガス絶縁変電所のブッシング破損。早期復旧は不可。
14:46	14:32	3号機非常用変圧器については冷却器上部が破損し、油が大量に流出しているが、堰内に留まっている。早期復旧不可。火災の兆候は見られず。
	14:14	特定重大事故等対処施設の受電操作完了。
14:53	14:47	使用済燃料ピットポンプB起動し、冷却再開。使用済燃料ピット温度23.6℃。冷却機能が喪失した場合100℃到達は5.4日後。
	14:56	一次冷却材漏えい量の増加したため、抽出隔離したが加圧器水位が低下傾向。
		管理区域外傷病者2名発生。地震で作業撤収中にタービン建屋で2名負傷。自力歩行可能。(1名少量出血、もう1名は熱傷)
	14:59	手動により安全注入信号を発信。高圧注入ポンプA, B起動。
15:02	15:01	AL21(原子炉冷却材の漏えい)、AL42(単一障壁の喪失または喪失おそれ)事業者判断。
15:10		加圧器水位回復中。漏えい量を減少させるため、加圧器逃し弁にて一次冷却材圧力を7.8MPaまで減圧。高圧注入

		ポンプ A が 68 m ³ 、B が 68 m ³ 、充てんポンプ 3B, 3C により 65 m ³ 注入。一次冷却材温度 251℃。
		<p>【炉心冷却戦略】</p> <p>加圧器水位満水、漏えい量低下等の安全注入信号停止条件を確認し、高圧注入ポンプを停止する。サブクールに注意し、一次冷却系圧力に注意しながら、充てん量が漏えい量を賄えるよう調整する。ほう酸濃縮が確認されれば、モード 5 まで冷却・減圧を行う。</p>
15:21	15:00	特定重大事故等対処施設の準備操作開始
15:23	15:19	安全注入信号停止条件を確立。高圧注入ポンプ 3A, 3B、残留熱除去ポンプ 3A, 3B を停止。充てんポンプのみで水位が維持できない場合は、手動起動を行う。非常用ディーゼル発電機 3B の負荷を確認し、使用済燃料ピットポンプ 3B を再起動する。
	15:25	特定重大事故等対処施設の準備完了
	15:26	格納容器内温度が緩やかに上昇しているため、格納容器再循環ファン 3A~D を起動。
	15:32	非常用ディーゼル発電機 3A が停止し、非常用電源母線 6-3C、4-3C1, C2 母線が高エネルギーアーク損傷により停止。電動補助給水ポンプ 3A、格納容器再循環ファン 3A, 3B 停止。蒸気発生器の注入は電動補助給水ポンプ 3B、タービン動補助給水ポンプにより継続中。一次冷却系には充てんポンプ 3B, 3C で継続中。

以上

四国電力(株)伊方発電所【3号機】の状況(11月28日15:35現在)

概況(事象発生前の状態:運転中)	
警戒事態	
11/28	
14:00 地震発生(伊方町震度7)警戒事態、原子炉自動停止	
15:01 警戒事態(AL21:原子炉冷却材の漏えい、AL42単一障壁の喪失又は喪失のおそれ)事業者判断	

今後	
○進展予測 (11/28 14:33 使用済燃料ピット冷却機能喪失の条件で予測) 100℃到達予測:12/4 0:00	○対応戦略(現在稼働中設備に加えたバックアップ策)

①原子炉冷却の状況	充てんポンプ(B,C)で注水中、蒸気発生器で冷却中
蒸気発生器給水(○)	原子炉注水(○)
11/28	
14:00 補助給水ポンプで蒸気発生器に給水中	
14:03 1次冷却系からの漏えい発生を判断	
14:09 充てんポンプ(B,C)を起動し一次冷却系に注入	
14:59 一次冷却系からの漏えい拡大判断、非常用炉心冷却装置手動起動	
15:01 警戒事態(AL21:原子炉冷却材の漏えい、AL42単一障壁の喪失又は喪失のおそれ)事業者判断	
15:05 安全注入信号発信に伴い停止した充てんポンプ(B,C)を手動起動し一次冷却系に注入	
15:19 高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプを手動停止	
15:32 非常用交流高圧母線(A)故障により、高圧注入ポンプ(A)、余熱除去ポンプ(A)、格納容器スプレイポンプ(A)、充てんポンプ(A)、電動補助給水ポンプ(A)使用不可	

③電源の状況	非常用ディーゼル発電機(B)で給電中
外部電源(×)	非常用電源・その他電源設備(○)
11/28	
14:03 外部電源喪失、予備変圧器故障、非常用ディーゼル発電機(A,B)自動起動	
15:32 非常用交流高圧母線(A)故障、非常用ディーゼル発電機(A)重故障	

④使用済燃料プールの状況	冷却機能喪失(燃料数1443体)
注水・冷却(×)	
11/28	
14:00 外部電源喪失に伴い、使用済燃料ピットポンプ(A,B)停止	
14:47 使用済燃料ピットポンプ(B)起動	
14:59 安全注入信号発信発信に伴い使用済燃料ピットポンプ(B)停止	

②格納容器の状況	現時点で異常なし
閉じ込め(○)	冷却・減圧(○)
15:26 格納容器再循環ファン再起動(A,B,C,D)	
15:32 非常用交流高圧母線(A)故障により格納容器再循環ファン(A,B)停止	

⑤外部への影響	モニタリングポスト指示値の上昇なし
⑥その他	

四国電力(株)伊方発電所【3号機】の状況(11月28日15:35現在)

原子炉の状況:自動停止

①原子炉

圧力	9.48Mpa
温度	233.2℃
水位	102.2mm

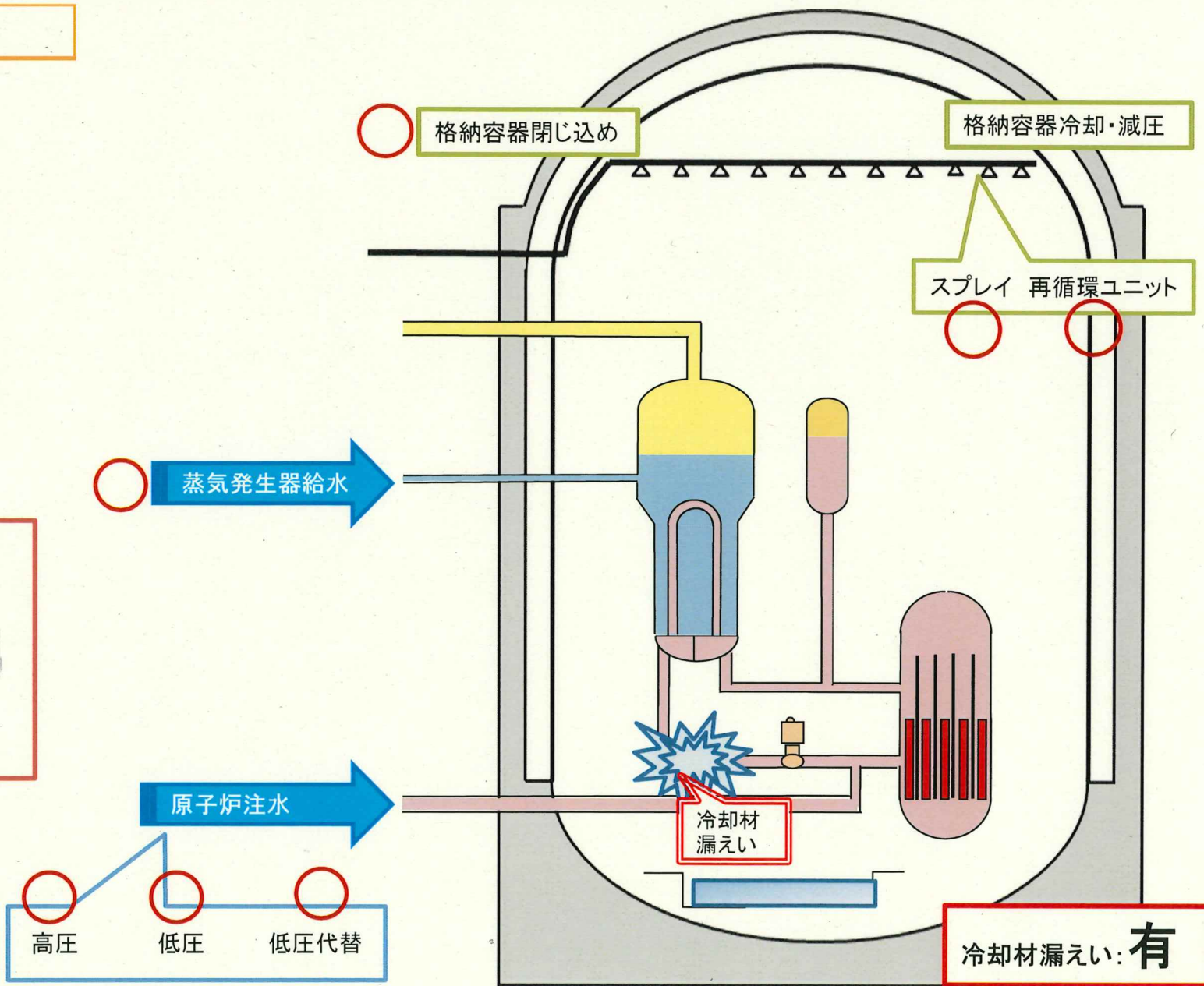
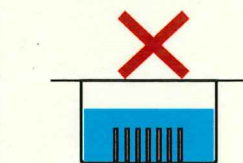
②格納容器

圧力	20.3kPa
温度	48.2℃

③電源



④使用済燃料プール



凡例 ○:異常なし(運転中・待機中) ×:機能喪失/使用可能設備なし ■:状況不明/確認中 ■:更新箇所

四国電力(株)伊方発電所【1, 2号機】の状況(11月28日15:35現在)

概況(事象発生前の状態:廃止措置中)

警戒事態
 14:00 地震発生(震度7 伊方町) 警戒事態

今後

○進展予測	○対応戦略(現在稼働中設備に加えたバックアップ策)
-------	---------------------------

①原子炉冷却の状況 原子炉から燃料取り出し済み

蒸気発生器給水(-)	原子炉注水(-)
------------	----------

③電源の状況 外部電源で給電中

外部電源(○)	非常用電源・その他電源設備(○)
---------	------------------

②格納容器の状況 現時点で異常なし

閉じ込め(○)	冷却・減圧(○)
---------	----------

④使用済燃料プールの状況 冷却中(1号機 燃料体 0体)
 (2号機 燃料体 316体)

注水・冷却(○)

⑤外部への影響 モニタリングポスト指示値の上昇なし

⑥その他

四国電力(株)伊方発電所【1, 2号機】の状況(11月28日15:35現在)

原子炉の状況:燃料取り出し済み

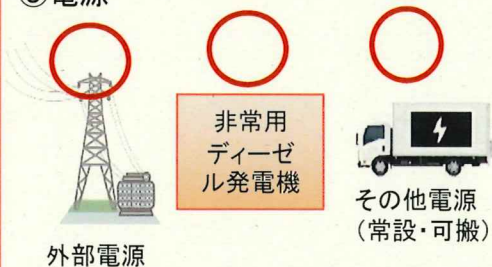
①原子炉

圧力	-Mpa
温度	-℃
水位	-mm

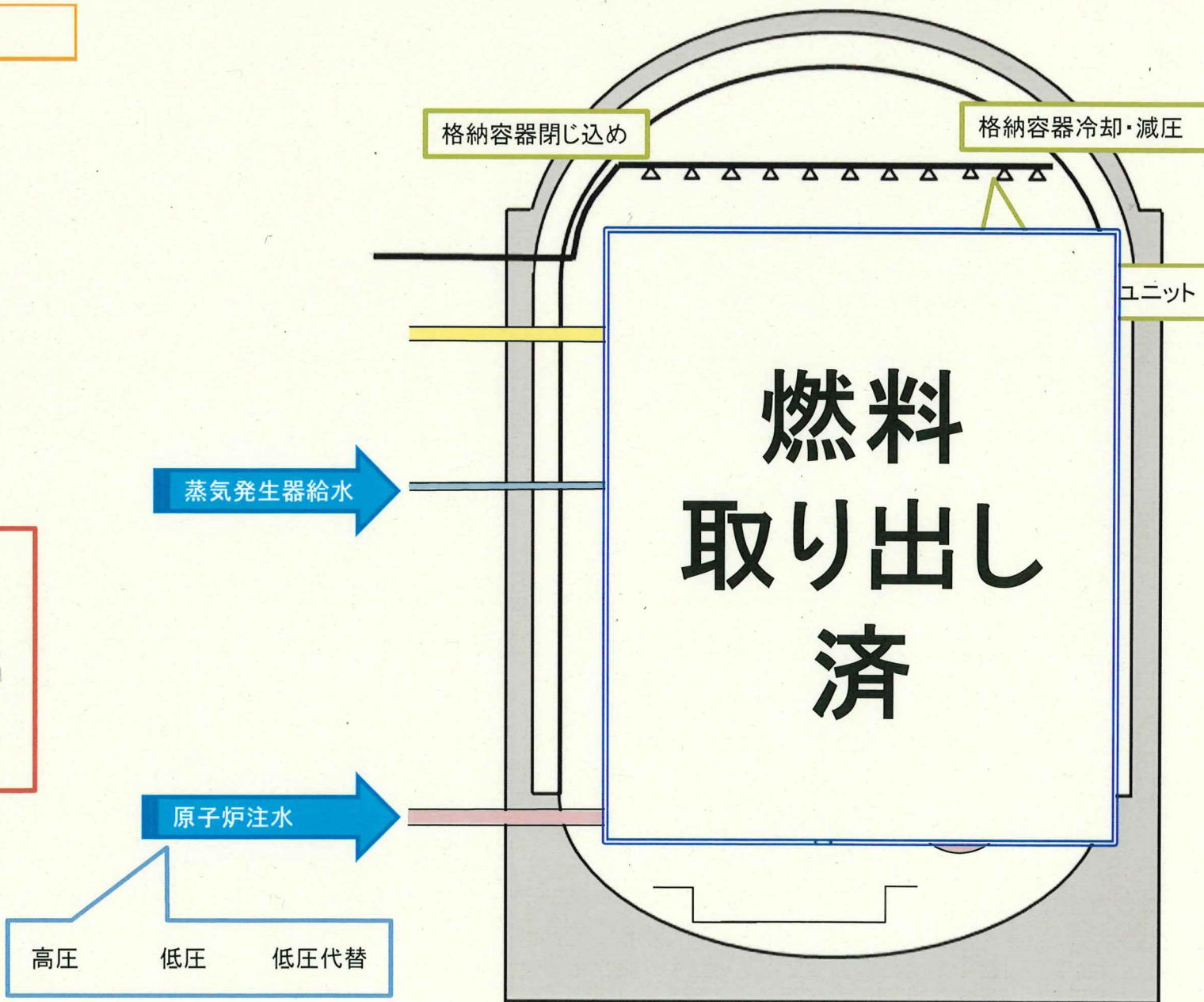
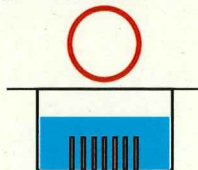
②格納容器

圧力	-kPa
温度	-℃

③電源



④使用済燃料プール



凡例 ○:異常なし(運転中・待機中) ×:機能喪失/使用可能設備なし ■:状況不明/確認中 □:更新箇所